

山行報告書

日時	2020年10月11日(日)		天候	曇りのち晴れ
山名	九千部山頂周辺 (2020年度 県連山岳救助隊 訓練)			
CL	県連山岳救助隊	参加者	県連5会より14名(アゼリアより1名 YOU)	
(コース)	9:00~14:00九千部山頂付近にて搜索訓練			
(コメント)	<p><講習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ココヘリの子機(発信機)と親機(受信機)での操作方法の確認。 ・YAMAPの見守り機能とココヘリ(子機・親機)を使用したの搜索訓練・・・遭難者が山行中にYAMAPの見守り機能を使用し、またココヘリの子機を携帯していると設定する。YAMAP見守り機能の通知先を今回の搜索本部とし遭難者の軌跡が途絶えていることを確認して、大まかな搜索エリアを設定する。3パーティーに分かれ各パーティーがココヘリの親機によって一斉に搜索をする。 <p><感想> 今回の搜索訓練は県連救助隊としても初めての試みで、アゼリアとしてもココヘリの親機を装備しているためその機能面での効力を把握しておきたく参加をしました。今回の訓練では遭難者は登山道から2~3メートル滑落し、沢沿いで倒れているという設定でココヘリの子機を設置しておりましたが(実際は土が抉られた場所に子機が隠されていた)、遭難地点まで約300メートルほどココヘリの親機で探索し、数十メートルのところまで接近しましたが、親機への反応は見られませんでした。子機の場所で親機への反応がかなり違うようです。それと1台の親機が子機を発見した場合、他の親機では子機が探索出来ないことが分かりました(他の親機には「親機と通信中」「ビジュー状態」と表示される)。今回の訓練に参加してみて、YAMAPやココヘリの操作方法や機能を知っておくことは大切であり、アゼリアでも訓練を行っていかねばと考えております。</p>			
費用概算	(その他/人)			

